

地域で子育てプロジェクト

核家族化や共働き家庭の増加により、家庭だけではなく、地域による子育て支援の必要性が高まっています。さまざまな保育サービスの充実や地域の活力を生かすことにより、地域全体で子育て世帯を支援していきます。

多様な保育サービスの充実

休日保育、延長保育、一時保育、放課後児童クラブなどの多様な保育サービスを充実させることにより、子どもを育てやすい環境づくりを進めます。

地域活力の活用

愛育会、子育てサークルなど、子育て支援を行っている団体の育成やネットワーク化を進め、地域全体で子育てを支援する体制をつくります。

地域の高齢者と協働した子育て支援

保育所や児童館などにおじいちゃん先生、おばあちゃん先生を派遣したり、子どもの下校時を高齢者などが見守るスクールガード（学校安全ボランティア）などと協力し、子育てを支援していきます。



子どもを見守るスクールガード(重崎北東小学校)

多様な保育サービスの充実

甲府市立舞鶴小学校「放課後児童クラブ」



舞鶴小放課後児童クラブ 土屋雪子先生

舞鶴小放課後児童クラブは、授業が終わり帰宅しても仕事などで家に保護者がいない児童（1年生から3年生が対象）の遊びや生活の場として、月曜日から金曜日の午後1時から夕方の6時まで

開かれています。

子どもたちは学校が終わると「ただいま！」とこのクラブに帰ってきて、宿題をしたりおやつを食べたり校庭で遊ぶなど思いの時間を過ごしています。核家族化が進む今、兄弟姉妹のいない児童にとっては、集団生活の中で縦のつながりができるといい良さも、このクラブにはあると思います。

大勢の子どもを預かっ

ているので、安全と健康管理には、いつも気を付けています。そして、あいさつや片づけ、掃除といった生活の基本的なことも自然に身につけていけるように心がけています。

女性の就労が一般化し、共働き家庭が増えていく中で、このクラブのような活動がより重要な役割を果たしていくという責任を感じています。

今後は、お年寄りなど

地域の方々とも子どもたちがふれあう場を作り、家庭や学校とは一味ちがう、子どもたちが「ホッとできる」場所を提供していきたいと思っています。



宿題をする子どもたち

充実する子育て支援

特集1

安心して子どもを産み育てるために

やまなしの特性を生かした3つの重点プロジェクト

厚生労働省が発表した平成17年の合計特殊出生率(概数)は、全国が1.25、本県が1.31と、いずれも過去最低を更新しています。少子化の急速な進行は、高齢化と相まって、経済社会のさまざまな面で深刻な影響を及ぼすことが懸念され、この流れに歯止めをかけることが最も重要な課題の一つです。

県では、昨年策定した「やまなし子育て支援プラン」に基づき、

- 地域で子育てプロジェクト
- あんしん子育てプロジェクト
- 企業も子育て応援プロジェクト

を重点プロジェクトとし、やまなしの特性を生かしながら事業を展開していくこととしています。

今回はその中から、すでに取り組みが進められているいくつかの事業をご紹介します。



地域で子育てプロジェクト

企業も子育て応援プロジェクト

あんしん子育てプロジェクト

ふれあい

企業も子育て応援プロジェクト

仕事と子育ての両立に向け、育児休業の取得や短時間労働など、子育て中の勤労者が子育てしやすい労働環境の整備を支援します。また、子育て環境づくりを推進する企業などに対し、積極的に支援していきます。

仕事と子育ての両立支援のための普及啓発

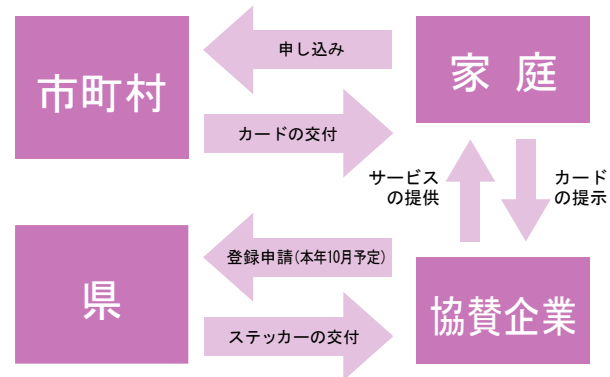
企業経営者を対象に子育て支援に関するセミナーを開催するなど、子育てしやすい職場環境づくりを推進します。

子育て応援カード事業協賛企業募集

- 県では、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭を経済的に支援していただける店舗や施設を募集しています。
- 応募していただいた企業については、協賛企業として県に登録し、名称、所在地、電話番号、特典内容などを県のホームページに掲載するなど、利用者に情報提供します。
- サービスの例
全製品〇〇%引き、毎月19日(育児の日)は食料品〇〇%引き、お子様ドリンク1杯無料サービス、〇〇円以上購入で記念品贈呈、来店者抽選で優待券贈呈など。
- 登録方法など、詳しくは県児童家庭課 TEL055-223-1458までお問い合わせください。

子育て環境づくりを推進する企業などへの支援

小さな子どもを連れた方でも安心して施設を利用できるよう、店舗へのベビーシートや授乳スペースなどの整備を促進します。



あんしん子育てプロジェクト

育児の孤立化や子育てに関する情報の不足などによって、子育てへの不安を感じる母親が増加しています。このため、子育て相談総合窓口を通じ必要な情報を提供するとともに、小児救急医療体制をさらに充実するなど、子育ての不安感を取り除く取り組みを推進します。

相談総合窓口の整備と情報提供の強化

子育て相談総合窓口や「やまなし子育てネット」「安心子育てテレフォン」などの充実を図るとともに、今年度は子育てバリアフリーマップを県のホームページに掲載するなどし、子育て中の親の不安や悩みを解消して安心して子育てに取り組みめる環境づくりを進めます。

○安心子育てテレフォン：TEL 055 - 252 - 0192



子育て支援ホームページ「やまなし子育てネット」

PC用：http://www.pref.yamanashi.jp/kosodate/

携帯端末用：http://www.pref.yamanashi.jp/kosodate/mobile/

子育て支援センターの設置促進と人材の育成

子育て中の親が気軽に交流、相談できる子育て支援センターの各市町村への設置を促進するとともに、子育てに関する的確なアドバイスを行うことができる人材を育成します。

小児医療の充実

夜間や休日に子どもの急な病気などに対応可能な小児救急医療体制の充実を図るとともに、乳幼児やひとり親家庭の医療費の助成を推進します。

○小児初期救急医療センター：TEL 055 - 226 - 3399

企業による子育て支援活動

甲府カシオ株式会社



総務部人事課 課長
古屋智章さん

弊社では、昨年4月より主に出産や育児に伴う有給休暇制度を見直し、社員がより家族とふれあう時間をもてる環境を整えました。具体的には、育児のための短時間勤務制度の適用期間の拡大。

出生時の配偶者特別休暇の拡大。実質労働時間を削減するための残業削減と有給休暇取得促進策と有給休暇取得促進策の拡大。そして育児休業を契約社員にも適用できる仕組みづくりなどがあげられます。

さらに制度を利用しやすくするために、計画有給休暇制度の推進も行っています。

また、企業としての社会貢献活動の一環として「1万人の工場見学」と銘

打ち、工場の見学を通じて子どもたちに「生きる力」を提供する試みに力を入れています。親と同世代の大人が働く姿を見て、家族の絆に気づく。製品の簡単な組み立てを体験することで科学の素晴らしさに目覚める。そして、社員の仕事に対する姿勢を通じて、挑戦すれば夢は実現することを。さらに、企業の環境に対する取り組みに触れることで地球環境を大

切にする心を育む。2年間で11の小学校が見学を訪れ、好評をいただいています。今後は県のキャリア教育推進事業との連携なども含め、より多くの子どもたちに参加してもらいたいと思っています。



真剣に話を聞く子どもたち

相談総合窓口の充実

子どもメンタルクリニック

(関連記事、22ページ)



児童精神科医師
水本有紀先生

近年、発達障害や情緒、行動上の問題を抱えた子どもたちが増えています。その初期診断と治療方針を考えることが「子どもメンタルクリニック」の役割です。虐待を受けた

子どもとその家族の精神面の診察やフォローをし、その子どもにどんなことが起きているかを考えながら、本人や家族に精神治療を行ったり、診療所の紹介などをしていきます。

まだ開設間もないクリニックですが、すでに発達障害の子どもを診断したり、不登校やチックなど身体に症状がでて子どもの相談を受けました。

子どもは発達段階に応じて生じる問題もそれぞれであり、家族や環境からも影響を受けているので、その診断や治療はとても難しく、奥の深さを実感しています。その反面、ちょっとした大人の対応で大きな変化を見せることもあり、改めてこのクリニックの可能性を感じています。親が子育てに関する悩みを抱えすぎないことがとても大切。親に余裕がないときには

子どもも不安になりがちです。子育てについて親が気軽に相談できる場作りをしていくことができればとも思っています。

山梨県の児童精神科がこれから発展していく最初の一步としての役割をしっかりと果たしていき

お問い合わせ

子どもメンタルクリニック
○予約受付電話：055-254-8650
県中央児童相談所
甲府市北新1-2-12(県福祉プラザ内)
AM 9:00~正午(月・火・水・金)
県都留児童相談所
都留市田原3-5-24
AM 9:00~正午(木)